

クラス番号	916	ゼミタイプ	エクスカージョン型
		担当教員名	伊藤 文人
テーマ	グローバル・ソーシャルワークの世界を見てみよう！ —台湾（・香港）のソーシャルワーカーたちと交流をしませんか？		

ゼミナール概要

目的、内容、方法等：

私は個人的に海外のソーシャルワークとの関係をこの10年間で深めてきました。この間に関わった国々は、イギリス、アイルランド、スペイン、フィンランド、イタリア、クロアチア、スロベニア、ドイツ、ポーランド、モルタバ、ハンガリー、アメリカ合衆国、カナダ、香港、台湾、マカオ、中国（香港周辺）など、欧州、北米、東アジアなどに拡がり、彼の地の人々へ日本の課題を伝えてきました。最近では、特に香港と台湾のソーシャルワーク関係者（研究者、実践者、ソーシャルワーク専攻学生、当事者）との研究会や実践交流を定期的に積み重ねており、2019年には日本の仲間と共に日本で彼らを招いて国際フォーラムを開催する予定です（The International Forum of Progressive Social Work in the East Asia [亜州社会工働論壇]）。

このように、社会福祉やソーシャルワークの世界は日本だけのものではありません。他の授業でも学習したと思いますが、世界中のソーシャルワーク専門職団体が参加している国際ソーシャルワーカー連盟（IFSW）に集う国や地域の数は国連加盟国に匹敵します。世界のソーシャルワークは、それぞれの国や地域の政治・経済・文化的背景や、そもそもグローバルな世界システムとの関係によってあるところでは独自性を発揮しつつも、あるところでは共通性を持つ特徴があります。

本ゼミナールでは、社会福祉やソーシャルワークの国際比較に関心のある学生たちと共に、世界の社会福祉やソーシャルワークの成り立ちや現在の諸課題を学習しながら、日本のそれと比較をしつつ、最終的に海外でのフィールドワーク（主に台湾と香港のどちらかを想定）にも挑戦しながら、相互理解と交流に貢献していくことを考えています。

授業計画：

①グローバルイズムとは何か、それがどのような意味で世界的な影響を持つのか？特に社会福祉やソーシャルワークとの関係を学習する。②各グループの問題関心に沿って、世界の社会福祉やソーシャルワークについて調査を重ねながら、日本の課題との比較を行う。③本学に留学している学生をゼミに招待して、それぞれの国の社会福祉について話してもらったりしながら、同時に文化交流も行う。④国内で開催されている海外との交流を積極的に行っている事業や団体を訪問する。⑤香港や台湾の関係者とフィールドワークについて相談しつつ、その実現性を探る。⑥最低限の英語や中国語の学習を行う。

担当教員からのメッセージ

「世界は広く多様だ」。これが18年前に英国大学院に留学してビビットに感じたことです。その当時、日本はまだ豊かな国でしたから、「アジアからの留学生」といったら日本人を指していました。しかし、それから15年経って再び英国に留学したら、「アジア人＝中国人」に変わっていました。これがグローバルゼーションの一つの帰結です。この数年は特に香港と台湾の関係者と学習する機会が増えたので、地理的・文化的にも近い学生たち同士が交流して学びあう経験できたら、どれほど楽しく有意義なことでしょうか！

海外フィールドワークは、（比較的物価の安い&親日の）台湾で実施したいと思っていますが、2泊3日という最短コースでも最低5-6万円（旅券代は除く）のコストがかかります。海外の社会福祉／政治経済文化に関心を持ち、語学学習も厭わず、渡航費用も負担できることもさることながら、自律的に動いて企画立案をみなと協力しながら積極的に行いたいと思っている学生諸君の参加をお待ちしております。